

2014年11月30日第3回勉強会において宇野先生による基調講演の後、拡大教科書を使って勉強した経験のある4人の若者によるパネルディスカッションが行われました。4人の方たちは著作権改訂前のボランティア作製のものや、白黒印刷の出版社のものも使われたということです。当時拡大教科書をボランティアに作ってもらうことはあまり一般的でなく、富士ゼロックス社で拡大コピーさせていただいたものを使ったり、教科書を自分で拡大コピーし、更にそれをサインペンでなぞったりと、大変なご苦労がうかがわれました。以下にお話をまとめました。

## 議題

### 1. 拡大教科書を使って良かったこと、困ったこと

良かったこと

- ・小学校高学年になると文字が小さくなり、疲れるので、拡大した文字がありがたい。
- ・ルーペを使わなくても見える。ノートに写す時、音読の時に助かった。
- ・白黒反転で見やすい。拡大読書器は持ち歩きできないので、移動教室の時、拡大教科書があつて良かった
- ・表やグラフを見やすく作ってもらったので良かった。

困ったこと

- ・図、挿絵が無い。(著作権法が改正になる前で、図、絵は著作権の許諾が取れなかったと思われる)
- ・重い、大きい。(ランドセルに入らない)
- ・何ページの「何行目」と言われても探せない。
- ・授業で急に単元が変わり該当の分冊を持参していなくて困ったことがある。

### 2. 教科書以外で欲しかった拡大図書

- ・副教材 問題集など
- ・資料集、辞書等(中学社会、理科の図説など)
- ・地図帳…ルーペや拡大読書器に入るサイズしか見られないので探せない。
- ・課題図書…読書器で読んでいたが長時間は疲れる
- ・試験問題…拡大コピーをルーペで見えていたが、A4サイズをつなげた巨大サイズの用紙を使った。
- ・当時は全教科の拡大教科書がなかったので、そういうものがあれば良かった。

勉強以外では

- ・給食献立表の拡大をしてもらい嬉しかった。
- ・コミックやファッション誌、小説などは拡大読書器で読んでいたが、拡大本があれば持ち歩きができて楽しいと思う

### 3. 今取り組まれている拡大教科書のデジタル化をどのように考えるか

- ・電子機器か紙媒体かの見やすさは個人によると思うので、選択肢の一つとしては良いと思う。
- ・軽量化になるのが良い。
- ・授業で使う時、拡大教科書は目立つがタブレットなら目立たない。
- ・電子機器は操作に慣れるまで訓練の期間が必要では。不得意な場合もあるのでは。
- ・紙は書き込めるが、デジタルはどうか。長時間の使用は疲れるかもしれない。
- ・タブレットは背景が変えられたり、検索がかけられるのでとてもよい。
- ・視野が狭いと画面を拡大したとき、ほかの場所を探せるかどうか。

宇野先生：

- ・デジタルの導入が小中学生からになっているが、大学から高校→中学→小学という順の方が妥当だと思う。
- ・紙媒体を無くすのではなく電子か紙かの選択肢を保証することが大切。

#### 4. 今後ボランティアに望むこと

- ・拡大教科書は弱視者の情報源なので、一人でも多くの弱視者にニーズに合ったものを提供してほしい。
- ・点字よりも字が読める方が良いので、手作りを続けてほしい。
- ・電子化の波に負けず作り続けてほしい。
- ・点字には画像の説明がある。拡大図書も図の説明が先にあるとよい。(標準規格ではキャプションを先に入れることになっている)
- ・今話題の図書など音声と同様に拡大してもらえると弱視の子どもも本が好きになるかも知れない。
- ・出版社によってはテキストデータをくれるところがあるがこの方法は弱視者だけではなく、他の障害者にもいいと思う。  
これをどこの出版社も合理的配慮としてやって欲しい。(宇野先生)

#### 質疑応答

1. 現在手助けがあればよいと思うことはありますか。
  - ・職場ですれちがっても気づかないことがあるので、社員を認識してくれるシステムがあればよいと思う。
  - ・職場の掲示物など、拡大がないので、少し困っている。
2. ボランティアと出版社の拡大教科書を比べてどうですか。  
ボランティアのものは
  - ・自分の状態に合ったものなので見やすかった。
  - ・カラーなのでやる気が出た。大切に使えた。
  - ・重い出版社のものは(当時は白黒で、表紙は赤などだった)
  - ・ページ、分冊がないなど、みんなと同じな点が良い。
  - ・白黒だったのが残念。
3. 複雑な、文字が入った図形の取り扱い方(文字を拡大すると図が大きくなりすぎる)
  - ・図の大きさや複雑さは視野によるので個別に対応するとよい。
  - ・文字情報を取り出すのも一つの方法。文字を少し小さくしても目を近づければ読めなくはない。見える文字サイズの幅はないわけではない。
  - ・盲学校では弱視児のみが使うのでわかりやすく抽出することもあるが、地域の学校では原本通りが原則。読みにくい時の補助として別媒体として作っても良い。